



講演会

参加費  
無料

## 津波を体験した 子どもたちに寄り添う～私たちの地域でグリーフケア～

子どもが津波や地震で受けた心の衝撃は周囲からは見えにくく、一人で抱えていることが少なくありません。周囲の人が気づいても、どうしてよいのか分からないこともあるでしょう。

このようなグリーフ（悲嘆）を抱えた子どもたちには、遊びや会話を通して、時間をかけて気持ちを解きほぐしていく癒しの“場”と“人”が必要です。

この講演会では、東松島市でこうした子どもたちに寄り添うために、教育・子ども福祉関係者、地域の方々と一緒に、大人にできることを学びます。

講師は、米国や日本のグリーフケアに大きな影響を与えているシンシア・ホワイトさんです。

と き 2015年 6月 24日（水）午後6時～8時30分

ところ 東松島市コミュニティセンター （東松島市矢本字大溜1-1）

定員 100人 （定員になり次第締め切り）

対象 学校関係者、子ども福祉の関係者、一般市民のみなさん  
\*はじめての方や子どもの保護者の方、興味のある方は、ぜひご参加ください。

講師 シンシア・ホワイトさん （米国キッズ・ハート・トゥー・ハワイ創設者）  
\*通訳が付きます

### キッズ・ハート・トゥー・ハワイ (Kids Hurt Too Hawaii)

「Kids Hurt Too」は「子どもの心も傷ついているんだ」の意味。見過ごされてしまうことの多い死別や離婚、虐待などで身近な人と離ればなれになった子どものグリーフやトラウマのケア（癒し）を重視して実践するハワイ州ホノルル市が拠点のNPO。ハワイで実施する支援者養成プログラムには、各国から参加がある。グリーフケアの指導者を養成する取り組みを日本でも行っている。

主催／朝日新聞厚生文化事業団、後援（申請中）／東松島市、東松島市教育委員会  
協力／Kids Hurt Too Hawaii

## 津波を体験した 子どもたちに寄り添う ～私たちの地域でグリーフケア～

### 講演内容 (予定)

- ① ト라우マとグリーフが子どもに与える影響・違い
- ② 手当がされない子どもたち
- ③ 子どもたちが必要とすること
- ④ 遊びと会話での癒し
- ⑤ グリーフケア活動の紹介
- ⑥ 地域で実践するために

### 子どものグリーフケア

喪失による悲しみや苦しみ、会いたい気持ち、自分を責める気持ちなどの反応は、誰にでも生じる健全なものです。しかし、周囲には見えにくく、気付いても、どうすればよいのか対処に苦心します。

こうした反応を示す子どもへのグリーフケアは、子どもの成長に応じて、遊びや会話を通して、一人ひとりが自分のペースで気持ちを整理していくプロセスとともに歩むもので、治療を目的とするカウンセリングとは異なります。

近年、近親者を亡くした大人へのグリーフケアは各地で始まっていますが、子どもへの取り組みは、まだ広まっていません。

子どもたちが安心と希望を持って暮らすために、東松島市の地域のみなさんが一緒に考え、子どもたちの癒し(グリーフケア)に取り組むために、小さな一歩を踏み出しませんか。

### お申し込み方法

参加希望のすべての方の①お名前(ふりがな)②〒・ご住所③電話番号④ご職業を明記の上、EメールかFAXでお申し込みください。HPからも申し込みます。先着順です。

- ・ 参加券を送付しますので、当日ご持参ください。

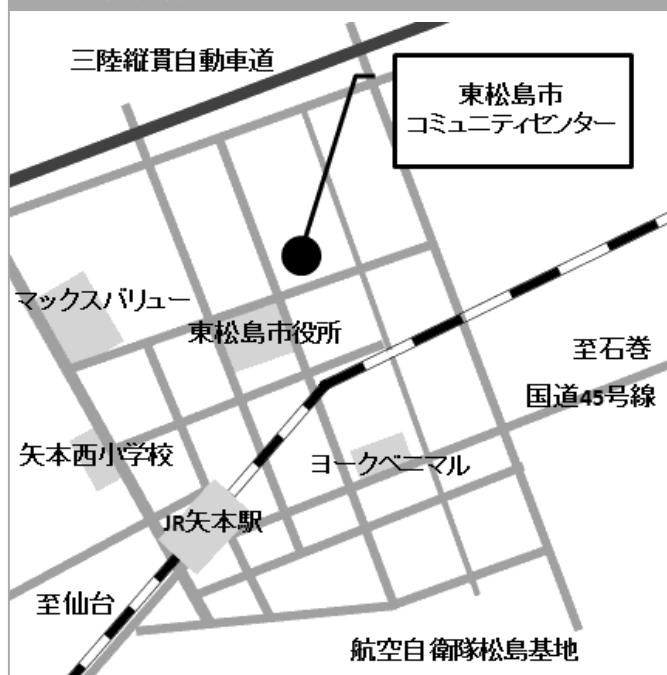
### お申し込み・お問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団「グリーフ講演会」係  
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2  
Tel:03-5540-7446 Fax:03-5565-1643  
Email:childreng@asahi-welfare.or.jp  
http://www.asahi-welfare.or.jp/

### 会場アクセス

- ・ JR仙石線矢本駅から徒歩約15分
- ・ 宮城交通高速バス(石巻-仙台臨時バス)矢本バス停から徒歩約3分
- ・ 三陸自動車道矢本ICから車で約5分

### 地図(駐車場有)



FAXでお申し込みの際は、下記にご記入のうえ、送信してください。

名前	〒・住所	電話番号	職業
	〒		
	〒		
	〒		